

環境パフォーマンス指標算定基準

◆Input

環境パフォーマンス指標	単位	算定方法
[エネルギー] 国内集計範囲：全拠点 海外集計範囲：研究拠点、生産拠点、オフィス（購入電力のみ）		
購入電力	MWh	電気事業者より購入した電力量
ガス類	N km^3	ガス事業者より購入したガス量（都市ガス、LPG、等）
油類	kL	購入した油量（重油、軽油、ガソリン、等）で国内社有車の燃料を含む
熱量換算	千GJ	購入したエネルギー（電力、ガス、油）の熱量換算値で国内社有車の燃料を含む。 $\Sigma(\text{購入電力、ガス類、油類の年間使用量} \times \text{種類別の単位発熱量})$ 単位発熱量は「エネルギー使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則」による
[用水] 国内集計範囲：全拠点（支店・営業所除く） 海外集計範囲：研究拠点、生産拠点		
上水・工業用水	千 m^3	上水および工業用水（公的機関で浄化処理後に提供された用水）の取水量
地表水	千 m^3	浄化処理を実施していない地表水（河川水、等）の取水量
地下水	千 m^3	浄化処理を実施していない地下水の取水量
[化学物質] 国内集計範囲：全拠点 海外集計範囲：研究拠点、生産拠点		
PRTR対象物質	t	PRTR対象物質（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に定める特定物質及び第1種指定化学物質）について、事業所毎の年間取扱量が100kg以上の物質の取扱量合計値 取扱量は「PRTR排出量等算出マニュアル（第5.1版（経済産業省・環境省）」に準じる
VOC（PRTR対象物質を除く）	t	VOC（環境省が定める揮発性有機化合物）からPRTR対象物質を除いた物質について、事業所毎の年間取扱量が100kg以上の物質の取扱量合計値 取扱量は「PRTR排出量等算出マニュアル（第5.1版（経済産業省・環境省）」に準じる

◆Output

環境パフォーマンス指標	単位	算定方法
[大気] 国内集計範囲：全拠点 海外集計範囲：研究拠点、生産拠点、オフィス（購入電力のみ）		
温室効果ガス	t-CO ₂ eq	事業所で購入したエネルギー（燃料、電力）、国内社有車の燃料及び漏洩フロン起源のCO ₂ 換算排出量の合計値 温室効果ガス = $\Sigma(\text{各エネルギー使用量} \times \text{各エネルギーのCO}_2\text{排出係数}) + \Sigma[(\text{フロン再充填量} - \text{フロン回収量}) \times \text{各フロンの地球温暖化係数}]$ 燃料は環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver5.0)」に基づく燃料の種類別係数を用いて集計 電気は電気事業者ごとの実排出係数、または国際エネルギー機関（IEA）による「CO ₂ Emissions From Fuel Combustion (IEA 2021)」に示された国別係数を用いて集計 法規制等で排ガス中NO _x 濃度を測定しているばい煙発生施設を集計対象とする。 $\Sigma(\text{排ガス中NO}_x\text{濃度} \times \text{年間排ガス量})$
NO _x	t	法規制等で排ガス中NO _x 濃度を測定しているばい煙発生施設を集計対象とする。 $\Sigma(\text{排ガス中NO}_x\text{濃度} \times \text{年間排ガス量})$
SO _x	t	法規制等で排ガス中SO _x 濃度を測定しているばい煙発生施設を集計対象とする。 $\Sigma(\text{排ガス中SO}_x\text{濃度} \times \text{年間排ガス量})$
ばいじん	t	法規制等で排ガス中ばいじん濃度を測定しているばい煙発生施設を集計対象とする。 $\Sigma(\text{排ガス中ばいじん濃度} \times \text{年間排ガス量})$
PRTR対象物質	t	各事業所で年間取扱量100kg以上のPRTR物質について、大気への排出量を合計物質ごとの大気排出量は「PRTR排出量等算出マニュアル（第5.1版（経済産業省・環境省）」に準じる
VOC	t	各事業所で年間取扱量100kg以上のVOC（PRTR対象物質を除く）について、大気への排出量を合計物質ごとの大気排出量は「PRTR排出量等算出マニュアル（第5.1版（経済産業省・環境省）」に準じる
[排水] 国内集計範囲：全拠点（支店・営業所除く） 海外集計範囲：研究拠点、生産拠点		
排水量	千 m^3	公共用水域および下水道への合計排水量（雨水の放流系統が独立していない拠点の排水量には雨水分を含む）
COD負荷量	t	排水を公共用水域に放流している事業所のCOD排出量 $\Sigma(\text{拠点の放流水COD濃度} \times \text{公共用水域への年間排水量})$
BOD負荷量	t	排水を河川に放流している事業所のBOD排出量 $\Sigma(\text{拠点の放流水BOD濃度} \times \text{公共用水域への年間排水量})$
窒素	t	排水を公共用水域に放流している事業所の窒素汚濁負荷量 $\Sigma(\text{拠点の放流水窒素濃度} \times \text{公共用水域への年間排水量})$
リン	t	排水を公共用水域に放流している事業所のリン汚濁負荷量 $\Sigma(\text{拠点の放流水リン濃度} \times \text{公共用水域への年間排水量})$
PRTR対象物質	t	各事業所で年間取扱量100kg以上のPRTR物質について、公共用水域への排出量を合計物質ごとの公共用水域への排出量は「PRTR排出量等算出マニュアル（第5.1版（経済産業省・環境省）」に準じる
VOC	t	各事業所で年間取扱量100kg以上のVOCについて、公共用水域への排出量を合計物質ごとの公共用水域への排出量は「PRTR排出量等算出マニュアル（第5.1版（経済産業省・環境省）」に準じる
[廃棄物] 国内集計範囲：全拠点、外部施設（物流センター） 海外集計範囲：研究拠点、生産拠点		
発生量	t	廃棄物（事業活動に伴って発生し、費用を支払って処理を委託する不要物）の発生量
排出量	t	直接または自社での中間処理後外部業者に処理委託した廃棄物量
最終処分量	t	中間処理後の残さで埋立処分された量

国内研究拠点：横浜事業所、湘南事業所、小野田事業所

国内生産拠点：小野田工場、吉富工場

海外生産拠点：台湾田辺製薬（新竹工場）、ミツビシ タナベ ファーマ コリア（郷南工場）、ミツビシタナベファーマインドネシア（バンドン工場）

海外オフィス：田辺三菱製薬研究（上海事務所）、田辺三菱製薬研究（北京）、台湾田辺製薬（本社）、台田薬品、

ミツビシ タナベ ファーマ コリア（ソウル事務所）、ミツビシ タナベ ファーマ インドネシア（本社）、

ミツビシ タナベ ファーマ シンガポール、ミツビシ タナベ ファーマ タイランド、

ミツビシ タナベ ファーマ マレーシア

ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ、MPヘルスケア ベンチャー マネジメント

ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ、ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムペーハー、ニューロゲーム